

和歌山市G-Pネットニュースレター

第4号（平成27年2月）

G-Pネットとは…うつ病の早期発見・早期治療を目的とした一般診療科医と精神科医の連携システムの名称です。

日頃は、和歌山市の精神保健医療にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

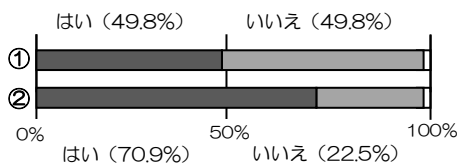
さて、昨年9月に「和歌山市G-Pネット」の活性化を図るため「和歌山市における一般診療科医と精神科医の連携に関する調査」を実施させていただきました。業務ご多忙の中、調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。調査結果から得られたうつ診療における連携状況と課題を今後のシステム運用に繋げていきたいと考えております。

今回のニュースレターでは、調査結果の一部を掲載させていただきます。

○「和歌山市における一般診療科医と精神科医の連携に関する調査」結果報告

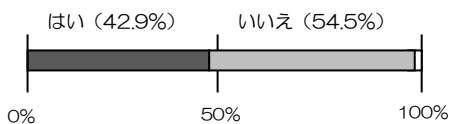
調査対象…和歌山市医師会会員（精神科医を除く） 回答率 66.4%

G-P ネットをご存知でしたか？…①
G-P ネットを利用したいですか？…②



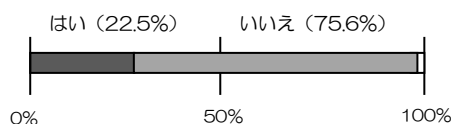
- ◆約半数が G-P ネットを知っている。
- ◆70.9%が G-P ネットを利用したいと思っている。利用しない理由は、25.8%が「G-P ネットがわからない」、9.7%が「利用しなくても既に紹介先がある」。

相談できる専門医（精神科・心療内科）がいらっしゃいますか？



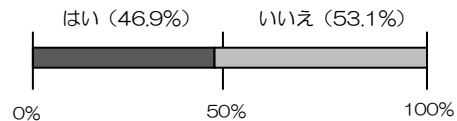
- ◆42.9%の医師には、相談できる専門医がいる。

地域で連携できる精神科病院・診療所をお持ちですか？



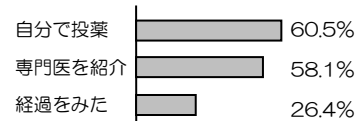
- ◆22.5%の医師が精神科病院等と連携できている。

平成 25 年度中で、うつ病・うつ状態の診断をされましたか？



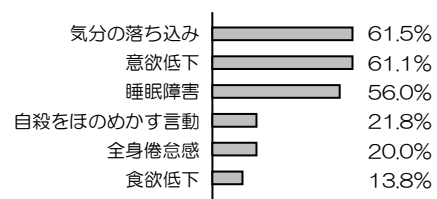
- ◆46.9%の医師が平成 25 年度にうつ病の診断をしたと回答。うつ病の診断をしていない理由は、44.5%が「患者がいなかった」ため。

「診断した」と回答された方
⇒どう対応されましたか？（複数回答）



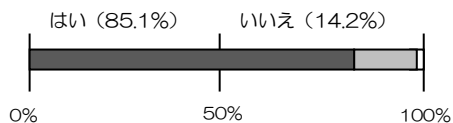
- ◆診断後、60.5%が投薬を行った。58.1%が専門医を紹介した。

うつ病を疑う際に重要視している症状は？（3つまで）



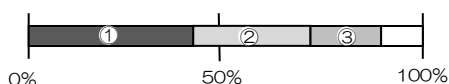
- ◆うつ病を疑う際に重要視していることは、「気分の落ち込み」「意欲低下」「睡眠障害」である。

先生は睡眠薬を処方されますか？



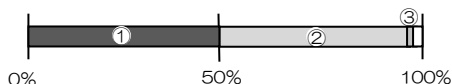
◆85.1%の医師が睡眠薬を処方したことがある。

うつ病の治療についてどのようにお考えですか？ (1つまで)



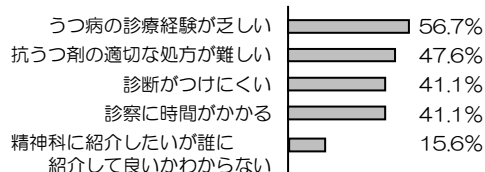
- ① 精神科医との連携を深めたい (43.3%)
- ② 医師としてできるだけ関わりたい (29.4%)
- ③ うつ病治療に関する知識を深めたい (17.5%)

貴院でうつ病を治療する場合の治療方針は？ (1つまで)



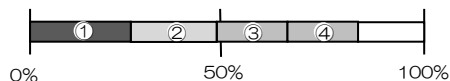
- ① すぐに精神科に紹介する (50.5%)
- ② ある程度の期間治療して回復しなければ精神科に紹介する (42.5%)
- ③ 回復をするまで当院で治療を継続(1.5%)

うつ病患者の治療にあたり、課題になることは何ですか？ (複数回答可)



◆うつ病治療への課題として、56.7%が「うつ病の診療経験が乏しい」、47.6%が「抗うつ剤の適切な処方が難しい」、41.1%が「診断がつけにくい」「診察に時間がかかる」、15.6%が「精神科に紹介したいと思っているが誰に紹介して良いかわからない」と回答。

一般診療科医から専門医へ繋げていくために必要だと思うことは？



- ① 紹介する基準の周知 (26.2%)
- ② 専門医との顔の見える関係づくり (17.5%)
- ③ うつ病スクリーニング (14.2%)
- ④ 連携システム (G-P ネット) の周知 (14.2%)

◆一般科医から精神科医へ繋げるためには、26.2%が「紹介する基準の周知」、17.5%が「専門医との顔の見える関係づくり」が必要と回答。

今回の調査において、「精神科医との連携を深めたい」と半数近くの方が回答されましたが、「連携できる精神科病院・診療所がある」と回答をされた方は、22.5%にとどまりました。うつ病治療において、一般診療科医から精神科医、精神科医から一般診療科医への紹介・相談等の連携方法の一つとして、G-Pネットを活用していただければと考えています。

また、G-Pネットを知らないと回答した方が49.8%と約半数を占め、G-Pネットの周知が行き届いていない現状が明らかとなりました。今後、和歌山市としては、ニューズレター等を通じて、G-Pネットの更なる周知と定着を図っていきたいと考えています。今後もG-Pネットの趣旨をご理解いただき、ご協力の程よろしくお願い致します。

※「和歌山市G-Pネット」の利用方法は、「和歌山市G-Pネット～一般診療科医と精神科医の連携に関する手引き～」をご確認ください。なお、利用の手引きは、和歌山市ホームページからダウンロードできます。和歌山市ホームページ内の google カスタム検索で『GP』と検索してください。

※「和歌山市 G-P ネット」についてご不明な点がございましたら、和歌山市保健所こころの健康対策班までお問い合わせください。

GP



発行：和歌山市保健所 保健対策課 こころの健康対策班
〒640-8137 和歌山市吹上5丁目2-15
TEL 073-488-5117 FAX 073-431-9980
E-mail : hokentaisaku@city.wakayama.lg.jp